

府中市人口ビジョン、府中市総合戦略、府中市公共施設等総合管理計画の概要

問い合わせ先 企画財政課 (☎43-7118)

全国的に進行している人口減少は、地方が直面する共通の課題です。人口減少により、地域社会のさまざまな基盤の維持も困難となり、衰退へとつながっています。

このため、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、地方公共団体が人口の長期ビジョンと総合戦略を策定すること、住民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、まち・ひと・しごとの好循環により、将来に向かって活力ある日本を維持することを目的としています。

府中市においても、改めて人口減少問題と向き合い、将来展望人口を満たすための府中市人口ビジョンや、目指すべき将来の方向である府中市総合戦略を策定し、戦略的施策を推進していかねばいけません。

府中市総合戦略

府中市の特徴を生かして、府中市にとって有効で、そして現実的な政策を展開していきたいと考えています。

府中市総合戦略は、人口減少社会において府中市がどのように生き残り、また住民の希望をかなえ、この地域をどのようにつくっていくのか、そして住民の幸福度や満足度を上げること、府中市に住んでよかった、府中市で子育てしてよかった、そう感じる人が増えるということを目的に策定しています。

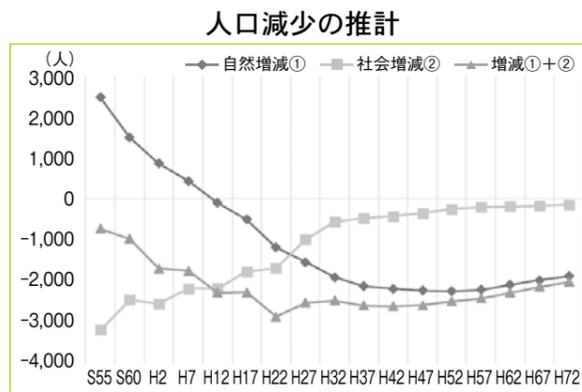
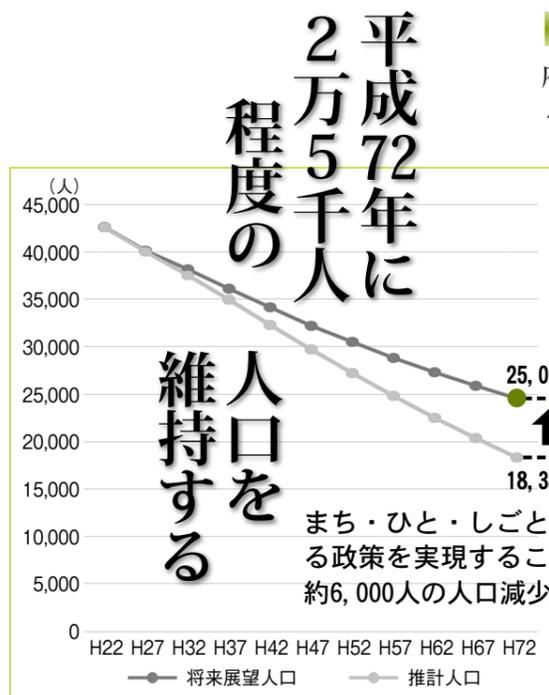
3つのポイント

- ① 安心して働くための産業振興と雇用の創出
- ② 安心して子育てができる働き方や暮らし方の環境づくり
- ③ 多様な働き方や暮らし方が提供できることでの移住・定住の促進

府中市人口ビジョン

府中市の将来展望人口を満たすための4つの方針

- ① 社会増減を5年間で現状見通しより300人改善し、生産年齢人口率を再び50%以上へ
- ② 適齢期の女性人口増、非婚・晩婚化対策、子育て支援を強化することで、合計特殊出生率を2.04まで上昇
- ③ 魅力あるまちづくりにより、定住化を促進し、転出人口の抑制を実現
- ④ 住民、市外に向けた府中市の取り組みや府中市の魅力・長所などを知らせてもらうための情報発信活動の強化



府中市人口ビジョンは、これまでの人口推移に関する現状分析やアンケート調査などにより、将来あるべき人口の展望や将来の目指すべき人口目標を設定するために策定しました。

出生・死亡・転入・転出といった人口動態の推移は、さまざまな社会的要因を含んでいます。これらを分析することは、府中市の人口減対策などの今後展開すべき施策の方向性を明らかにし、戦略性をもった取り組みを進めることができます。

基本目標 2

府中市の地域資源を生かし、新しいひとの流れをつくる

基本方針
定住促進に向け空き家の活用や「ものづくり」と農のある暮らしをしながら、自分のやりたいことに費やす「半農半X」など多様性のある暮らし方への取り組みを図ります。

また、既存の観光地や備後府中焼きの活用、魅力ある観光地の発掘、ものづくり産業と連携した観光などにより、観光交流人口の増加を図ります。

数値目標
▷ 5年間の転入・転出減少…基準値-1,377人 (H22～H26) から-1,077人 (H27～H31) に改善
▷ 観光入込客数…基準値年間852,000人 (H26) から年間965,000人 (H31) に増加

基本目標 4

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

基本方針
住民が安心して暮らせる生活環境を実現します。公共施設、病院、公共交通などの社会インフラの効果的、効率的な活用・整備を図り、「暮らしたい」「暮らしてよかった」という住民満足度の向上に努めます。また、空き家や遊休地の活用などに努め、移住促進につながる取り組みを図ります。

数値目標
▷ 集落市街地の検討…基準値0地域(H27)から1地域(H31)

基本目標 1

「ものづくりのまち府中」の特性を生かし、安定した雇用を創出する

基本方針
若者をはじめとした住民が定住するためには、産業振興を図り雇用を創出することが重要です。そのため、企業誘致、空き工場バンク、人材確保、農商工連携、販路拡大など府中市の強みをさらに強化できる産業振興策を図ります。

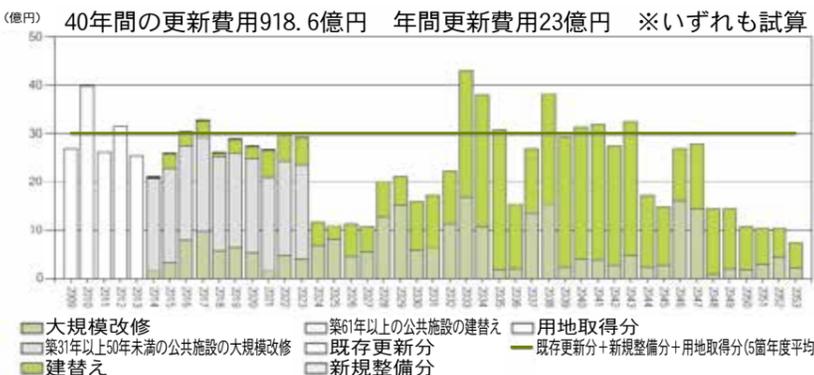
数値目標
▷ 市内事業所の就業者数…基準値19,806人 (H22) の現状を維持 (H32まで)
▷ 年間の製造品出荷額…基準値1,728億8,570万 (H24) の現状を維持 (H31まで)

基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本方針
若者や女性の定住促進を図るため、結婚・出産・子育ての環境を整備します。未婚・晩婚化に歯止めをかける施策や、子育てへの経済的負担の軽減やワークライフバランスの促進を図ります。また「子育ては府中市でしたい」と望まれる地域の実現を住民、企業、行政が一体となって取り組みます。

数値目標
▷ 1年間の出生数…基準値年間253人 (H24) から年間257人 (H31) に改善
▷ 合計特殊出生率…1.55 (H22) から1.65 (H32) に改善



今後の更新費用の見込みを明らかにした上で、施設用途ごとの基本方針を定めるため、府中市公共施設等総合管理計画を策定しました。

今後、この計画に基づき、市民の皆さまの意見を踏まえながら、人口減少社会における公共施設などのより良いあり方を検討していきます。

このことは、府中市においても例外ではありません。そこで、府中市では、府中市の公共施設などの保有状況を客観的に把握・分析し、長期的な視点に立って

投資可能な財源と必要な更新費用の乖離が課題となっています。

一方で、少子化などによる人口減少の進行に伴い、厳しい財政状況が続く中で、老朽化する公共施設などの更新費用を十分に確保することが難しくなっており、

近年、高度経済成長期に併せて整備された公共施設などの老朽化対策が、社会問題となっています。

府中市においては、本格的な人口減少に備えて、将来にわたり、公共施設などを安定的かつ持続的に維持管理していくために、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設などの最適な配置を実現することが求められています。